

オモリの移動で、荷物が転倒したかどうか分かる技術です！

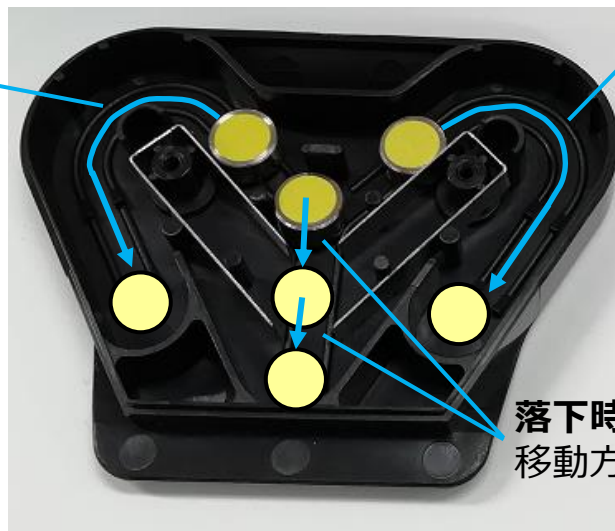
○技術の原理（構造）



(初期状態)

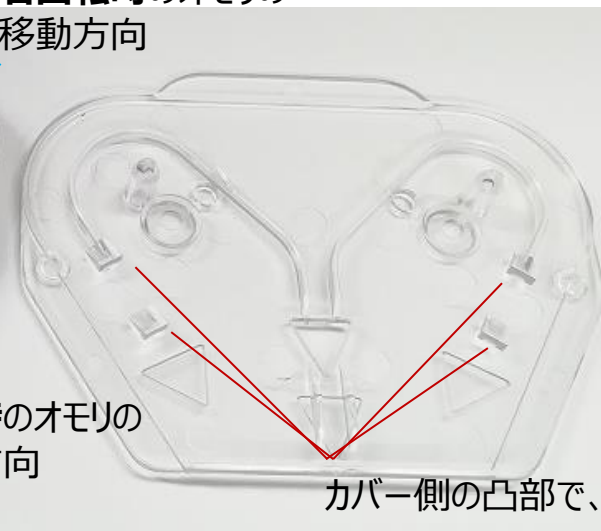
- 装置に3個のオモリを設置
- 荷物に装置を取り付け、
 - ① 転倒方向
 - ② 落下回数をオモリの初期状態から検知

左回転時の
オモリの
移動方向



右回転時のオモリの
移動方向

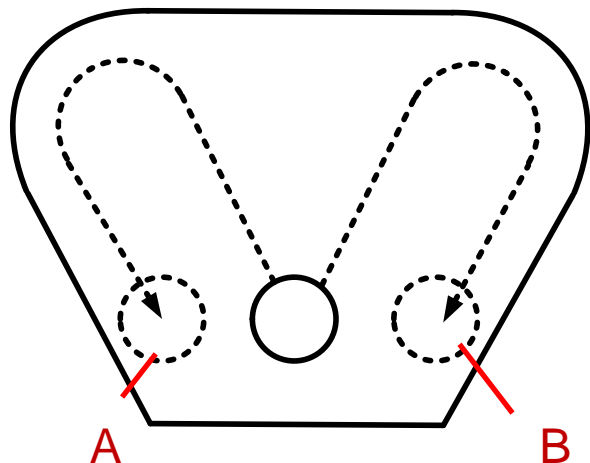
落下時のオモリの
移動方向



カバー側の凸部で、オモリの戻り防止

(カバー開時)

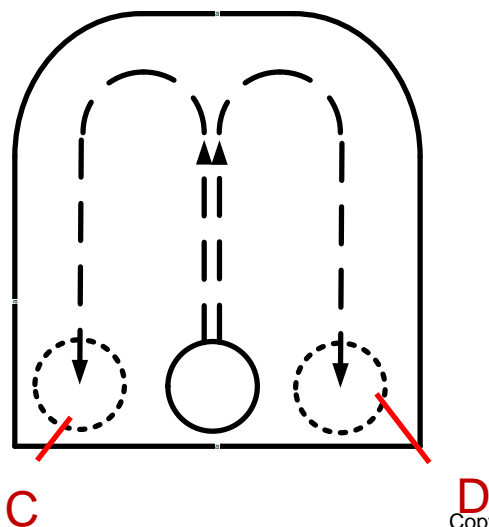
○技術の原理（構造）



上側ケース、下側ケースにオモリをはさみ、
各ケースのレール、凹凸により、オモリの移動方向を変更

<左右転倒検知部>

- ・装置に1個のオモリを設置
- ・**左側転倒時**、オモリは初期状態より、**A**の位置に移動
- ・**右側転倒時**、オモリは初期状態より、**B**の位置に移動



<前後転倒検知部>

- ・装置に1個のオモリを設置
- ・**前側転倒時**、オモリは初期状態より、**C**の位置に移動
- ・**後ろ側転倒時**、オモリは初期状態より、**D**の位置に移動